

2014年6月2日(月) 日刊産業新聞 (2)

近畿システム建築 協力会総会を開催 JFEシビル

でJFE近畿システム建築協力会定期総会を開催し、20社30人が出席した。山本竹一会長（栄代表取締役）が、「会長職を引き継いでから3回目の総会。当時の建設業界は氷河期だったが、現在は徐々に上向きになっている」とあいさつ。「東日本は復興事業・オリンピックで大幅に改善しているが、西日本はまだまだ

JFEシビルの
商品活性化



抱負を述べた。JFEシビルを代表して本原義凡・システム建築事業部副事業部長は「前身の川鉄建材は変わても強固な協力関係は今もこれからも変わらない、共に一層の拡販を」とあいさつした。14年度（中期計画最終年度）は全社で完全な東高西低の状況と、近畿地区もJFEシビルの商品で活性化させていきたいと

円以上の安定した売上高を達成するためにも「さらなる協力会との連携強化、人手不足下でのシステム建築の優れた競争力の伸長、新たな仲間作り・協力会の拡大の3点がポイント」と述べ、「会員とシビルが一緒に儲かることが一番大事」と締めくくった。

最後に近畿の拡販に貢献した徳網建設（兵庫）、中尾鐵工所（京都）、三木組（大阪）が事業も売り上げに貢献しているが、150億

日、神戸市の有馬温泉

JFEシビルは22